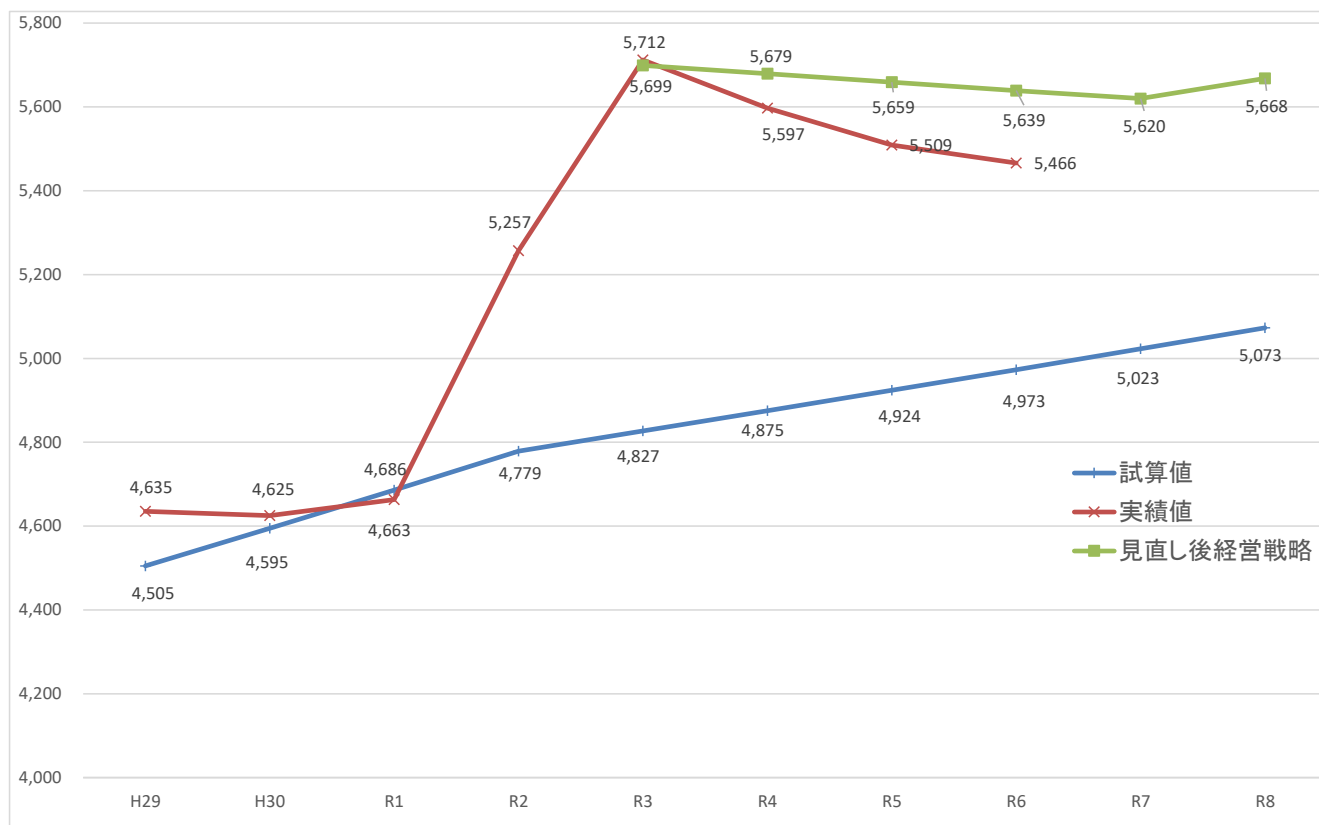


公共下水道事業経営戦略の試算値と令和6年度決算数値の比較について

1 公共下水道接続人口の推移試算及び実績



公共下水道接続人口の推移試算及び実績

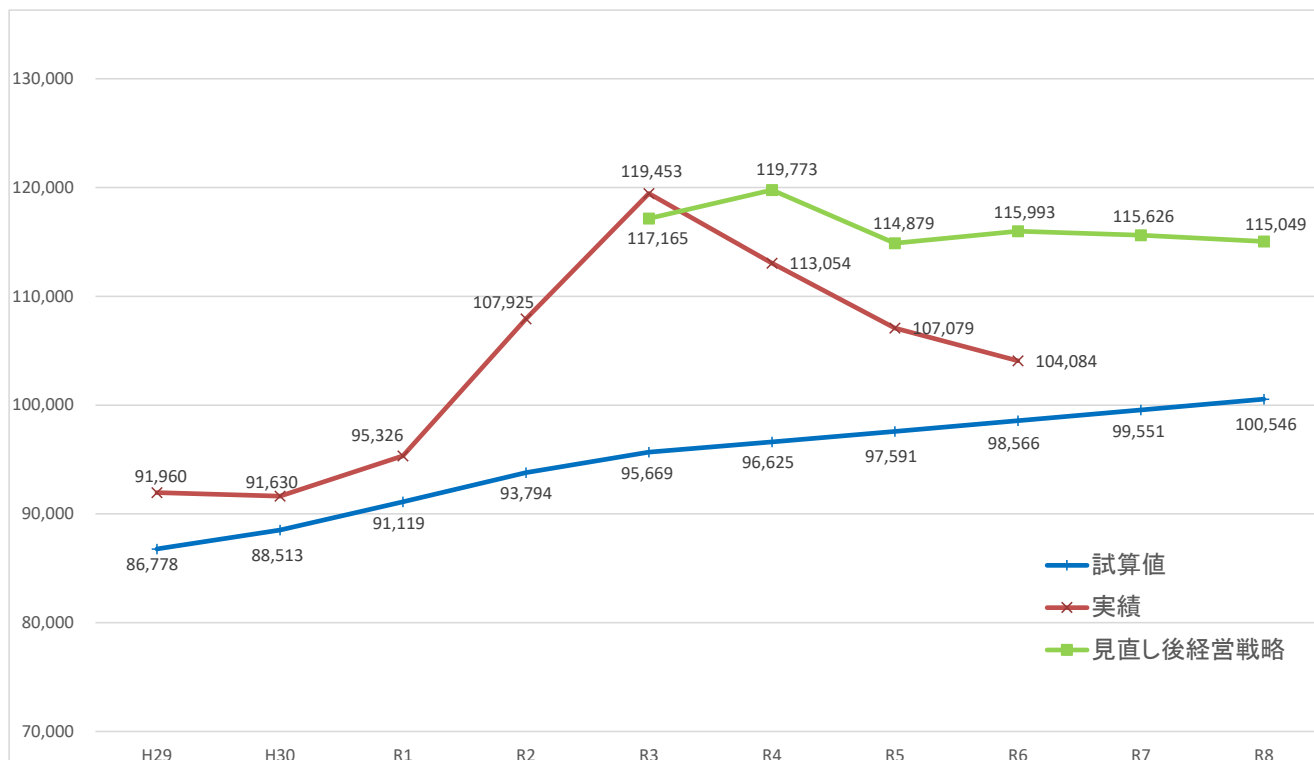
単位:人

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
試算値	4,505	4,595	4,686	4,779	4,827	4,875	4,924	4,973	5,023	5,073
実績値	4,635	4,625	4,663	5,257	5,712	5,597	5,509	5,466		
増減	130	30	△ 23	478	885	722	585	493		

見直し後経営戦略					5,699	5,679	5,659	5,639	5,620	5,668
実績との差					13	△ 82	△ 150	△ 173		

- 令和6年度実績の接続人口は、経営戦略の試算値と比べて、493人（9.9%増）となりました。
- 令和6年度の接続人口は、前年度よりも43人減少し、減少率は0.8%となっています。
- 接続人口の減少は、人口減少の影響によるものです。また、見直し後の経営戦略とは173人（3.1%）の乖離が生じています。

2 下水道使用料の推移試算及び実績(税込)



使用料収益の推移試算及び実績

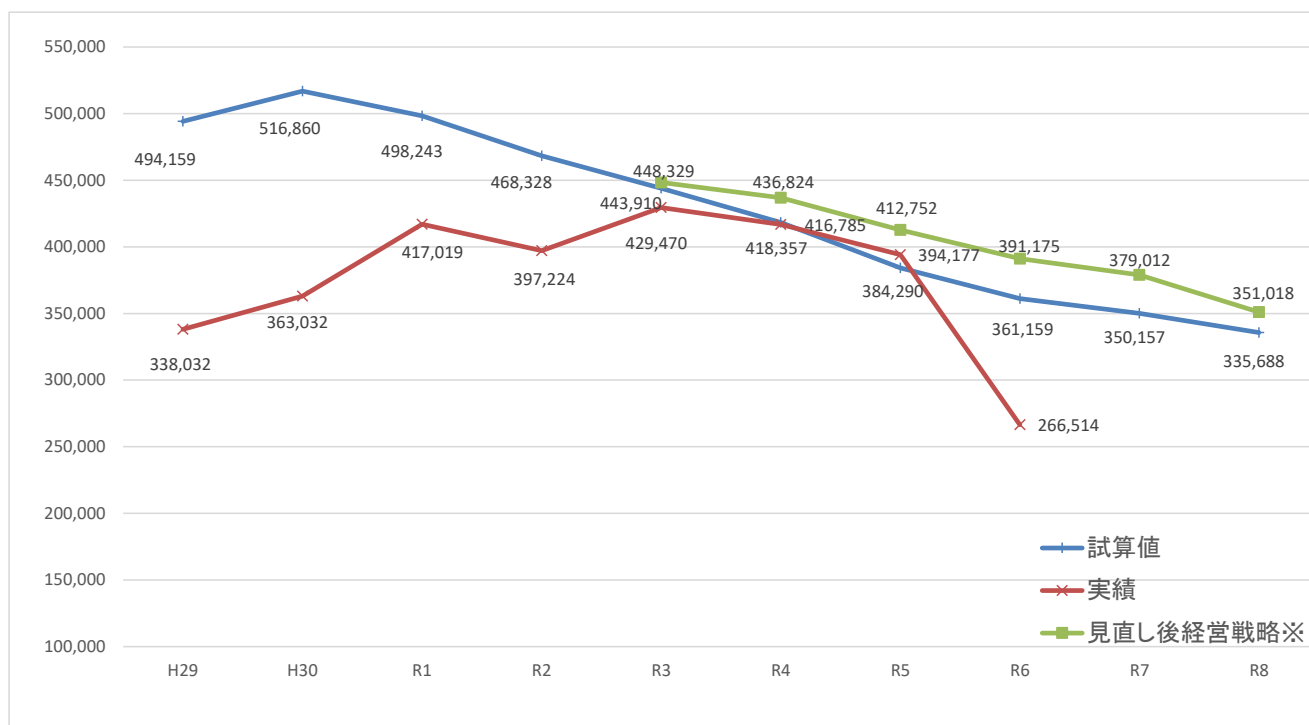
単位: 千円, 税込み

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
試算値	86,778	88,513	91,119	93,794	95,669	96,625	97,591	98,566	99,551	100,546
実績	91,960	91,630	95,326	107,925	119,453	113,054	107,079	104,084		
増減	5,182	3,117	4,207	14,131	23,784	16,429	9,488	5,518		

見直し後経営戦略					117,165	119,773	114,879	115,993	115,626	115,049
実績との差					2,288	△ 6,719	△ 7,800	△ 11,909		

- ・平成29年3月に策定した経営戦略では、国府処理区整備事業による増額、及び平成31年10月以降は消費税率10%への改定を見込んだ使用料収益試算をしています。
- ・消費税改定については令和元年12月調定分からとなりました。
- ・令和6年度の実績値は、人口減少及び事業者の廃業等により、見直し後の経営戦略試算値に比べ11,909千円下振れています。このため令和7年度改定予定の経営戦略では、これらの事業環境の変化を計画に反映していきます。
- ・見直し後の経営戦略値については、令和8年度の浜田処理区一部供用開始による使用料増を見込んでいます。

3 一般会計繰入金の推移試算及び実績



一般会計繰入金の推移試算及び実績

単位:千円/年

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
試算値	494,159	516,860	498,243	468,328	443,910	418,357	384,290	361,159	350,157	335,688
実績	338,032	363,032	417,019	397,224	429,470	416,785	394,177	266,514		
増減	△ 156,127	△ 153,828	△ 81,224	△ 71,104	△ 14,440	△ 1,572	9,887	△ 94,645		

見直し後経営戦略※					448,329	436,824	412,752	391,175	379,012	351,018
うち財源不足額					0	0	202,428	180,042	170,211	139,858
実績との差					△ 18,859	△ 20,039	△ 18,575	△ 124,661		

※見直し後経営戦略に計上したR6以降の数値には、財源不足に対する補填必要額を加算しています。

- ・平成29年度～令和2年度までの試算値との乖離要因は、主に試算値では見込んでいなかった資本費平準化債の借入を行ったことによるものです。
- ・令和6年度の繰入額は、前年度よりも127,663千円減少し、減少率は32.4%となっています。
- ・繰入金額の対前年度比減の主要因としては、令和6年度から企業債償還の財源に充てるための資本費平準化債の制度拡充により、企業債収入が増加したことが挙げられます。